

CT装置クリーニング・消毒に関して

ユーザーマニュアル(5808971-1JA)「メンテナンスとクリーニング」より抜粋

メンテナンスとクリーニング

- 安全で信頼できる機器の性能を得るには、『事前設置マニュアル』に記載の GE Medical Systems が定める要件に従って準備する必要があります。
- 本システムには、ユーザーが整備できる部品はありません。本製品は、サービスエンジニアが本製品のサービスマニュアルに従って設置、メンテナンス、整備を行います。
- GE Medical Systems の事前の許可なく、本システムの全部または一部を改造することは一切禁じられています。
- 機器は、常に清潔にしてください。健康上のリスクや内部部品の損傷を防ぐため、体液や点滴装置からの流出液が付着しないようにしてください。本製品は、以下の認可済み洗浄剤でクリーニングしてください。洗浄剤は、メーカーの取扱説明書に従い、雑巾または付属の布に染み込ませて用いてください。
 - ぬるま湯と石鹼または低刺激の消毒剤
 - 一般的な家庭用漂白剤を 10分の1に薄めたもの
 - Sani-cloth HB
 - Perasafe
 - Incidin Plus
 - Distel
- なお、電子機器には、乾燥クリーニングを適用してください。
- ECG や呼吸同期装置などのケーブルのコネクタはクリーニングしないでください。クリーニングの必要がある場合、GE サービスにお問い合わせください。
- 本製品を安全にご使用いただくため、必ず定期的なメンテナンスを行ってください。
- 本製品のユーザーによるメンテナンスおよび性能テストについては、『技術リファレンスマニュアル』の「メンテナンスとキャリブレーション」の章を参照してください。

機器のクリーニング (バイオ ハザード)



注意

血液感染性の病原体に関する手順 - 装置を整備または GE Medical Systems に返送前に、以下の条件を満たす必要があります。

- 臨床設定で使用した装置は、必ずクリーニングを行い、血液やその他の感染物質を除去してください。
- 装置の衛生状態は、顧客の責任となります。機器内部や周辺で液体や物質を取り除くための推奨手順は以下のとおりです。
 - 個人用保護具を着用します。
 - 適切なニトリル手袋を着用します。
 - クリーニング前に、尖った角や物で手袋が破れないように注意してください。手袋が破れた場合は、手をよく洗ってから再び手袋を着用してください。
 - クリーナーと布または紙タオルを使用し、飛び散らないように注意します。

- 10分の1に薄めた一般的な漂白剤か、「メンテナンスとクリーニング」のセクションに記載の認可済み洗剤で汚れたエリアを消毒します。体液が付着したツールは、クリーニングしてください。
- 湿気があるとウィルスの心配があるため、エリア全体を乾燥させます。
- エリアが清潔で乾燥した状態になったら、クリーニングに使用した用具を赤いバイオハザード袋に入れます。
- 手袋を裏返しにして外し、ビニールのバイオハザード袋に入れます。袋を密封して、適切な廃棄担当者に渡します。

環境問題



この記号は、電気・電子機器の廃棄物を地方自治体の無分別廃棄物として処分できないこと、また分別回収が必要であることを示しています。ご使用機器の廃棄方法に関しては、メーカーの認可を受けた販売業者にお問い合わせください。